

神奈川県教育委員会教育長 殿

学校教育計画 (平成28年度～平成31年度)

学校名	海洋科学高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・海洋科学科
-----	----------	------------------	-----------

1 学校のミッション

全日制専門学科の高校として、産業の動向等に適切に対応し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に定めるため、単位制の利点をいかした年次進行を基調としたカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。

教育課程については、水産に関する専門教科・科目を中心に、専門性の向上を図る教育に重点を置いて、実際の・体験的学習を重視して産業界等との連携をより一層深めるとともに、共通教科・科目の適切な設置に基づいて編成を行う。

これまで、海をフィールドとした、様々な体験学習などを通して、きめ細かな教育活動を展開し、自立性、協調性、心豊かな人間性、望ましい社会性、健やかな体の育成に取り組んできたが、今後はさらに、神奈川の水産・海洋関連産業で活躍する人材の育成をめざし、自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善を行う等、教育活動の一層の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 海洋に対するグローバルかつ多様な視点を持たせる。
- 海洋におけるさまざまな学習や体験をとおして、自ら課題を発見し、仲間と協働して課題解決を図る力を身につけさせる。
- 生徒一人ひとりの進路希望実現のために、支援体制の充実を図る。
- 教職員一人ひとりが創意工夫し学校の魅力を開発するとともに、学校からの情報発信を積極的に行い、地域や保護者から信頼される学校づくりを進める。

3 計画策定時点での課題

- 平成27年度後期の生徒による授業評価の結果から、生徒の活動を取り入れた授業改善は進んでいるが、更なる高みをめざして授業改善を行う必要がある。
- 生徒の専門に対する意識に差があり、自分の専門性を生かせずに進学、就職するケースが見られる。
- 生徒の資格取得状況に差があり、事前・事後の補習等の参加を含め、主体的に資格を取得しようとする意欲に課題が見られる。
- 部活動の活性化に向け、加入率を現在より高める必要がある。
- 地域の方が本校の特色ある教育活動に参加する機会が少ない。本校の教育活動を外部に対して積極的に発信する必要がある。
- 生徒等に関する情報共有はできているが、生徒一人ひとりの個に応じた指導体制に課題が見られる。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の海洋科学に対する意欲や探究心を高める教育課程編成や組織的な授業改善に取り組む。 実習や学校行事、生徒会活動等を充実させ、生徒の主体的な行動の促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> アクティブ・ラーニングの視点を踏まえた授業の教員研修会の実施及び内容の充実を図る。 専門教科科目個々の教育内容を充実させ、水産、海洋科学に対する意欲向上を図るとともに生徒の資格取得意識を向上させる。 課題研究の時間に、探究活動に取り組む。
2	生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 行事・部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の涵養を図る。 生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 新入生全員の仮入部制を継続するとともに、特色あるサークルの新設など部活動の活性化に取り組む。 支援教育についての理解を深め、生徒一人ひとりのニーズを把握、共有化して支援する。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が自らのキャリア発達を意識できる進路指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の専門に対する意識を深化させ、進路を考える機会とする履修ガイダンス、履修指導、三者面談等の充実を図る。 長期の就業体験活動など生徒の専門性を高めるインターシップの取組を充実させる。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> 教職員一人ひとりが創意工夫し学校の魅力を開発・発信し、海洋学習センター機能を充実・発展させる。 地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の自己肯定感の向上につながる地域産業界や大学・研究機関等との取組を進める。 機会のあるごとに地域やPTAの方に学校の教育活動に参加してもらう取組を進める。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> すべての職員が教育環境の変化に迅速に対応し、前向きに課題に取り組む学校文化を形成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教職員のOJTやコミュニティ・スクールなどに関する校内研修会を開催する。 外部に対する情報発信を積極的に行い、学校の現状と課題等の透明化に努める。

